

第4学年 社会科学習指導案

1. 小単元名 「私たちの住んでいる福岡県」

2. 指導観

(1) 子どもの研究から見えたもの

本学級の児童は、これまでの社会科学習において、種々の社会的事象やそれらに関わる人物と出会ってきた。その中でそれぞれが課題意識を持って学習できるようになってきている。追究の場面では、浄水場や清掃工場の見学、環境局による出前授業やパッカー車の体験学習などを多く取り入れたため、積極的に取り組んでいた。また、よいこの社会科や副読本、地図帳やインターネットを活用して、意欲的に調べ学習をすることができていた。

しかし、資料から分かることを読み取ったり、資料を使って自分なりの考えをつくることが全体的に苦手である。また、考えを作ることができていても、それに自信が持てず、伝えることができないという実態がある。

(2) 教材の価値・意義

本単元では、児童たちの住む福岡県を取り上げる。福岡県は、三方に海、県境に山地、南北に福岡平野と筑紫平野という地形的特色を持つ。これらの特色を調べていくために、パンフレット、地図帳や立体模型、Google Map など様々な資料や方法で調べることで、児童の意欲を喚起したり、児童が考えを作る足がかりを作りやすいと考える。

また、福岡県の産業についての調べ学習では産業を平地、山地、海の地形の特色ごとに視点を分ける。児童はそれぞれの視点に分かれて調べ、カードにまとめる。そして、個人で調べたことを持ち寄って、中間交流会を行う。ここでは、お互いの調べ方や資料活用の仕方でのよいところについて見つけあい交流する。友達の意見と交流したり参考にすることで児童が自身の自分の考えに自信を持てるようにしていく。中間交流会で新たに出てきた課題をもとに付加・修正をしていく。全体交流会では、異なる視点同士これまで追究してきた福岡県の土地の様子と産業の様子に関わりについて、調べてきたことを発表し合い、友達の考えのよさを見つける。最後に、それまで調べたことをもとに、福岡県の紹介文を作成する。これらの活動によって、資料を使った自分なりの考えをつくっていくことができると考える。

(3) 指導・支援の方法

- 本小単元の指導に当たっては、【つかむ】【さぐる】【まとめる】の3つの学習過程において、指導や支援の工夫を行っていくことで、教材の持つ価値や単元の狙いに迫らせていきたい。

【つかむ段階】

- ・ 児童が行ったことのある福岡県内の場所や児童が知っている福岡県で作られたりとられたりしているものについて交流をしたり、福岡県の形当てクイズなどを最初に行い、単元導入への意欲を高める。
- ・ 等高線図や立体地図、福岡県の土地の様子からそこに住む人々がその土地をどのように使い、どんなものが作られたりとられたりしているか予想させることで学習問題につなげていけるようにする。

【さぐる段階】

- ・ 福岡県の産業についての追究の視点を平地、山地、海に分けて、調べ活動を行っていく。その際、パンフレット、インターネット、図書、必要に応じて電話インタビューなどをもとに追究活動を行う。
- ・ 福岡県で作られたものについて、個人で調べたことを中間交流として同じ視点の小グループで交流する。小グループで交流するなかで、よいまとめ方や資料活用の仕方のヒントを得られるようにする。

【まとめる段階】

- ・ 調べたことについて追究活動の視点ごとに発表する。
- ・ 発表後に学習問題の答えをつくり、予想からの変容を見取る。
- ・ 自分たちの住む福岡県の特色について学習したことを具体化できるように、福岡県紹介文を書く活動を組む。

3. 単元構想図

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中心概念</p>	<p>八方位や縮尺、等高線を使用することで、正確な方角やおよその距離、土地の高さや傾きを調べることができる。福岡県は日本の西方に位置し、県内には平地や山地があり、三方を海に囲まれている。また、県内には他県や高速道路、新幹線、飛行場、航路など様々な交通網が発展している。</p> <p>福岡県内では農業・漁業・林業・工業の産業が、それぞれ、地形の特色を生かし工夫しながら行われている。</p> <p>私達の住む福岡県では、平地、山地、海それぞれの地形の特色、また発達した交通網を利用し、それらを生かした工夫や努力をして産業が行なわれている。</p>			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">具体的知識</p>	<p>《福岡県の土地の様子》 八方位や縮尺等高線を使用することで、正確な方角やおよその距離、土地の高さや傾きを調べることができる。47ある都道府県の中で福岡県は日本の西方に位置し、県内には平地や山地があり、三方を海に囲まれている。 ①②③</p>	<p>《福岡県の平地》 福岡県の平地は、主に田や畑として利用されている。その中でも広大な筑紫平野は筑後川などの豊富な水を利用して、西日本でも有数の米どころとして知られている。他にも、さまざまなブランド農産物が生み出されている。また平地では交通網が発達している。 ④⑤⑥</p>	<p>《福岡県の山地》 福岡の山地では、その斜面を利用して、たけのこ、えのきだけ、ブナシメジ、果物などが作られている。また、気候の特色を生かしたお茶作り林業も盛んである。また、山地では交通網はあまり発達していない。 ④⑤⑥</p>	<p>《福岡県の海》 福岡県の海では、玄界灘と響灘、周防灘、有明海に囲まれとれるものが違う。それにあわせて、漁の仕方も違う。有明海では潮の干満の差を利用したのりの養殖が盛んである。また、北九州地方では海の近くに工場を建て、運搬に利用している。 ④⑤⑥</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">用語・語句の知識</p>	<p>縮尺① 八方位① 等高線② 平地② 山地② 福岡平野② 筑後平野② 筑後川① 遠賀川① 脊振山地② 耳納山地② 玄界灘③ 響灘③ 周防灘③ 有明海③</p>	<p>ブランド農産物⑥ 平らな土地を利用して広い田や畑を作る⑥ 筑後川遠賀川などの豊富な水⑥ ハウス栽培⑥ 日当たりがよく作物が育ちやすい⑥</p>	<p>寒暖の差を利用したお茶作り⑥ 山の南側の斜面を利用した果樹園⑥ たけのこの生産高は全国1位⑥ えのきだけ⑥ ぶなしめじ⑥ 林業⑥</p>	<p>海の様子の違い⑥ ノリの養殖の盛んな有明海⑥ 有明海の干満の差を利用したのり作り⑥ 海や魚の違いによって漁の仕方に違いがある⑥</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">資料</p>	<p>地図帳①② 拡大日本地図① 福岡県白地図① 校区の等高線図② 立体地図②</p>	<p>地図帳④⑤ わたしたちの福岡県④⑤ 福岡県庁のホームページ④⑤ 福岡県の物産品④⑤ 福岡県の交通地図⑤</p>	<p>地図帳④⑤ わたしたちの福岡県④⑤ 福岡県庁のホームページ④⑤ 福岡県の物産品④⑤ 福岡県の交通地図⑤</p>	<p>地図帳④⑤ わたしたちの福岡県④⑤ 福岡県庁のホームページ④⑤ 福岡県の物産品④⑤ 福岡県の交通地図⑤</p>

4. 指導計画

	学習活動	具体的知識	留意点 (□) 評価の観点 (※)
つかむ	<p>1. 自分のたちの知っている福岡県について話し合い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 八方位や縮尺を使い、福岡県の位置や方角、距離を調べる。①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県で行ったことのある場所や知っている有名なものなどについて発表する。 ○ 日本地図内で福岡の位置を確認できたら、福岡県の形当てクイズをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本拡大地図 ○ 縮尺を使って、2地点間のおおよその距離や福岡県の河川の長さを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県の白地図 <p>(2) 等高線図から、福岡県の土地の様子を調べる。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Google map の航空写真や地図帳立体地図を使って、福岡県の土地の様子を調べる。 ○ Google map の等高線図をもとに、土地の高さや傾きを読み取る方法を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Google map ・ 立体地図 <p>(3) 福岡県の産業について、学習問題を作る。③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県の土地の様子から、そこに住む人々は土地をどう利用しているか考える。 ○ 土地の利用のされ方の地図から福岡県の産業の様子について学習問題を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八方位の読み取りと活用ができる。 ・ 縮尺を使って地図上のおよその長さがわかる。 ・ 福岡県の主な河川の名前を言える。 ・ 福岡県の主な山地や平野の名前を言える。 ・ 等高線から土地の高さの様子を調べられる。 ・ 福岡県の主な海の名前を言える。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 行ったことのある場所を発表したら拡大した白地図に印をつけ、視覚的に捉えやすいようにする。 ※【関心・意欲・態度】 □ 視覚的に福岡を認識できるように、福岡県の形当てクイズをする。 □ 前単元で学習した筑後川や、那珂川、遠賀川、学校の横にある瑞梅寺川などを取り上げる。 □ 地図帳だけではわからない土地の高低や傾きを児童が意識できるように立体地図を準備して直接触る活動をおこなう。 □ 等高線図の読み取りには、児童が意欲を持てるように、校区近くにある可也山を取り上げる。 □ 児童が意欲的に土地の利用のされ方について考えられるように、まず、福岡県の土地の様子地図だけを見せ、予想を交流する時間をとる。
<p>【 学習問題 】</p> <p>私たちの住んでいる福岡県の平地、山地、海では、どんなものがつくられたり、とられたりしているのだろうか。</p>			
よめる	<p>2. 学習問題についての予想を立てる。</p> <p>(1) 学習問題の答えの予想を立てる。</p> <p>《考えられる子どもの予想》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>平地…米, イチゴ, トマト 山…たけのこ 海…魚, 明太子</p> </div> <p>(2) 追究内容を明確にする。</p> <p>《調べること》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県の平地でつくられているもの ・ 福岡県の山地でつくられているもの ・ 福岡県の海でつくられたりとられたりしているもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想を立てるための根拠を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 土地の様子と産業のつながりを予想しやすいように大分県のねぎ生産と土地利用のされ方を例に挙げる。 ※ これまでの学習や自らの経験から、根拠のある学習問題の予想を立てようとしている。 【思考・判断・表現】

本時

まとめる

(3) 自分の調べたい視点を決め、追究計画を立てる。

3. それぞれの視点ごとに追究計画にそって調べる。

(1) 自分の選んだ視点について調べ学習を進める。④

○ 地図帳、パンフレット、図書、インターネットなどで調べる。

○ 調べてまとめたことを、カードにまとめていく。一人につき2枚までカードを書く。

- ・福岡県庁HP
- ・私たちの福岡県
- ・地図帳
- ・福岡県の物産品

(2) 作成した表現物をもとに同じ視点のグループで中間交流会を行う。⑤

○ 自分の調べ方に活かしていきけるような友達の調べ方のよいところを見つける。

○ 新たな資料（福岡県の交通の様子）を見て、交通と産業のつながりについて考え、自分の学習問題への答えを強化する。

- ・福岡県の交通地図

(3) 自分の考えを付加修正する。

○ 前時の資料を見直し、交通の様子と産業のつながりについての自分の考えを付加修正する。

○ 学習問題の答えをつくる。

4. 表現物をもとに調べたことを全体で交流し、学習問題について話し合い、自分の考えをまとめる。

(1) 平地・山地・海の産業について、全体で交流し、学習問題について話し合う。⑥

○ 福岡県の平地の産業について調べた児童が発表を行う。

[平地]

- ・ 平らな土地を利用して主に田や畑として利用されている。
- ・ 特に広い平地と大きな川のある筑後地方では米作りが盛んである。
- ・ 山の斜面を利用して果物作りが盛んに行われている。
- ・ 道路や鉄道によって流通している。

・自分の必要に応じた資料を選ぶことができる。

・自分と友達の表現物を比べ、資料の集め方や見方は参考になるものはないか見つけることができる。

・

・自分の考えが相手に伝わるように自分の作った表現物や資料を使って工夫して発表できる。

□ 調べるときには、5W1H (いつどこで誰が何をなぜどのように) の視点で追究することを確認する。

□ 教室内に、情報コーナーを設置し県内の産業の情報について児童がいつもみられるようにしておく。

※追究活動に沿って意欲的に追及することができる。**【関心・意欲・態度】**

□ 友達のいいまとめ方を見つけたら、ひとつずつ付箋に書きこんでいく。

※**【関心・意欲・態度】**

□ 児童の考えを深める資料として、福岡県の交通の様子についての資料（鉄道高速道路船舶の路線図、主な港の場所）を準備する。

□ これまでの考えと新たな資料のつながりについて見つけようとしている。

※**【観察・技能】**

□ 必要に応じて電話インタビューなども行っていいことを伝える。

※ 交流や資料を通して、自分なりに考え、学習問題の答えをつくらうとしている。**【思考・判断・表現】**

□ 全体でも確認がしやすいように大きな白地図を準備し、児童が発表した産業の場所にシールを貼り、視覚的にとらえやすいようにする。

□ 交通におけるそれぞれの視点との関連性を捉えられるように、発表をした後に、質問や意見を交換する時間を確保する。

<p>○ 福岡県の山地の産業について調べた児童が発表を行う。</p> <p>〔山地〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡の山地はたけのこやシメジを作るのに利用されている。たけのこの生産量は全国1位である。 ・ 気候を利用してお茶作りが行われている。 ・ 山の土を利用して陶器作りが行われている。 ・ 平地に比べ交通網が発達していないため、林業を行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた情報から、自分に必要な内容を読み取ることができる。 	<p>※作成した表現物をもとに、相手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【資料活用】</p> <p>□ 自分の予想がどのように変容したかを確認できるように、交流を行った後、「今日の学習で」を書く時間を設ける。</p>
<p>○ 福岡県の海の産業について調べた児童が発表を行う。</p> <p>〔海〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡は3つの海に囲まれている。それぞれの海で取れる魚介類と漁の仕方が違う。 ・ 有明海ののり養殖では潮の干満をうまく利用している。 ・ 福岡県の人々は、それぞれの海の海岸線に多くの港を作ることで漁業が盛んに行われている。 ・ 海に面した平地に工場を建てることで、海を利用して、原料や製品を運びやすくしている。 <p>(2) 違う視点のグループ交流を行い、それぞれの共通点を確認し、自分の考えを深める。</p> <p>(3) これまでの学習をまとめて、学習問題の答えをつくる。</p>		<p>□ それぞれの視点の共通点を明らかにしておく。</p> <p>～共通点～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの産業も、その土地の様子の特長をいかして作ったりとったりすることができるものが盛んに行われている。
<p>私たちの住む福岡県にはいろいろな地形があり、それぞれの地形に合ったものづくりがされている。</p> <p>平地では、大きな平地や川をいかして、田畑として利用され、米作りが行われている。また、北九州市では平地近くの海をいかして、工業が盛んに行われている。</p> <p>福岡の山地では、山の斜面や気候をいかした農作物が作られている。</p> <p>また海では、各海域ではとれる魚などに合わせて漁の仕方を工夫している。有明海では潮の干満をいかしたのりの養殖がおこなわれている。</p> <p>福岡県にはいろいろな土地があり、そこで多くの人々が工夫や努力をしてさまざまなものを作っている。</p>		
<p>5. 学習の振り返りをする。</p> <p>○ 今回の学習でわかったことをもとに福岡県紹介文を書く。</p>		<p>※単元全体を振り返り、福岡県の地形の特色が、産業や交通の特色に大きく関わっていることを捉えることができる。</p> <p>【知識・理解】</p>

5. 単元目標

- 自分たちの住む福岡県の地形の特色や産業の概要に関心を持ち、意欲的に調べたり考えたりすることができる。 【関心・意欲・態度】
- 福岡県の地形の特色や交通網の様子，産業の概要について調べたことをもとに，福岡県の特色について考えたことを適切に表現することができる。 【思考・判断・表現】
- 福岡県の地形の特色や交通の様子，産業の概要について資料を活用して調べることができる。 【観察・技能】
- 福岡県全体の地形や土地利用の様子，交通網の様子，産業や地形条件から，福岡県内の各地域の特色について考察し，理解することができる。 【知識・理解】

6. 本時（10/16）

平成 年 月 日（ ） 校時 第4学年 組教室

7. 本時の目標

- 福岡県の産業の様子と地形の特色について，自分が調べたことと，友達の考えをつなぎ，自分の考えを付加修正することができる。 （思考・判断・表現）
- 新たな資料から，これまで調べてきた福岡県の産業の特色と，交通の様子とのかかわりを見つけることができる。 （観察・技能）

8. 本時指導にあたって

前時までに学習問題について子どもたちは，平地，山地，海にそれぞれ分かれ，個人で調べ学習をして，自分なりの考えを作っている。グループ交流をすることで，友達と自分の考えを比較し，自分の考えの不十分なところ，友達のよい工夫に気づき，付加修正を加えるきっかけになる。また，自分の考えを友達から認められる機会を作ることで，自身のやり方に自信を持ち，よりよい自分の考えを作ることにつなげることができると思う。

また，児童たちが調べてきたことを交流したあと，考えを深められるようにするために，福岡県の交通の様子の資料を提示し，学習問題の答えを考える上での新たな視点を投げかける。

- 学習活動の工夫について

本時では，平地・山地・海の地形の特色ごとに同質グループをつくる。そのことで，自分の知らない資料や，自分と異なる資料の使い方，読み取り方を交流でき，考えを深めるための資料の活用の仕方，まとめ方を高めることができると思う。

また，交流の中で見つけた友達の資料の活用，まとめ方のよい点を付箋紙にひとつずつ書き出していく。付箋紙に書き出すことによって，よい点を一つでも多く書こうという児童の意欲を喚起できたり，交流後によかった点について友達との意見交換がしやすいと思う。

9. 本時の展開

主な学習活動と内容（○）	留意点（□）資料（『』）評価（※）
<p>1 前時までの学習を振り返り，本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【本時のめあて】 福岡県について，調べたことを発表し合い，次の調べ学習で調べていくことを見つけよう。</p> </div> <p>2 調べてきたことを，同質グループで交流し，お互いのまとめ方，資料の活用の仕方についてよい点を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全員の発表が終わったら，それぞれが気づいたよい点を付箋紙に書き込んでいく。 ○ 付箋紙に書き込んだ，友達のまとめ方，資料活用のよい点をグループ内で交流し合う。 ○ 全体で，見つけたよい点についての交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □ まとめ方・資料活用の仕方のよい点を確認する。 《まとめ方のよい点》 ・ グラフや表などを使って数値や量がわかりやすく表されている。 ・ 図や絵を使ってわかりやすくなっている。 《考えがふえたこと》 ・ 新しい資料を見つけている。

3 新たな資料を読み取り、自分の考えを深める。

(1) 福岡県内の交通の様子についての資料を読み、自分が調べた産業との関わりについて考える。

○ 地図と交通の様子の資料を見比べながら、産業と交通の様子の関わりについて考える。

(2) 資料を見て気づいたことを全体で発表しあう。

4 「今日の学習で」を書き、次時への見通しを持つ。
めざす子どもの姿

私は〇〇について調べました。□□の資料から読み取っていたけど、A君は私とは違う読み取り方をしていました。私も取り入れたいです。

そして、先生が新しく出した資料からは、工業が盛んな北九州では鉄道や道路、飛行場、港などたくさんの交通が集まっているということに気がつきました。このことから交通と産業に何か関係があると思いました。次の時間に詳しく調べてみたいです。

- ・ 自分が知らなかったことを調べている。
- ※自分と友達の表現物を比べ、資料の集め方や見方で参考になるものはないか見つけることができ、自分の考えに生かすことができる。【思考・判断・表現】

産業と交通の様子との間に関連性がないか考えられるように、福岡県内の交通の様子の資料を提示する。

交通の様子の資料には、福岡県内の鉄道、高速道路の路線図、港の位置を書き込んだものを準備する。

『福岡県の交通の様子』（自作）

- ※産業と交通の様子との関わりについて調べたことや資料をもとに自分の考えをつくることができる。

【観察・技能】

児童が関わりを見つけやすいように、交通の様子の資料だけではなく、自分の表現物、地図帳、これまでに使った資料など様々なものを使って考えていいということを伝える。

「今日の学習で」の視点を伝える。

- ・ 友達の発表から気づきたいところ
- ・ 新しい資料から気づいた自分の調べたことと交通やとのつながり。

書いた付箋紙は自分のノートに貼り付けておくように伝える。

めあて

福岡県について調べたことを発表し合い、次の調べ学習で調べていくことを見つけよう。

<p>発表の仕方</p> <p>①発表</p> <p>②しつもん</p> <p>③ふせん</p>	<p>付せんに書くこと</p> <p>①考えがふえたこと</p> <p>新しい資料</p> <p>ちがう考え方</p> <p>②いいまとめ方</p> <p>数字や量、グラフ</p> <p>図・絵などわかりやすい工夫</p>	<p>①考えがふえたこと</p> <p>中間交流会の中で子どもが気づいたことをかきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたものの特徴 ・ 場所の特徴 ・ つくり方取り方の特徴 <p>②いいまとめ方</p> <p>交流会の中で気づきたいまとめ方についてかきます。</p>	<p>=資料=</p> <p>福岡県の土地の 使われ方</p>	<p>=資料=</p> <p>福岡県の交通の 様子</p>
---	--	---	-------------------------------------	-----------------------------------

考えたこと

?海でとれたものを高速道路で運ぶ。

?山でとれたものも車や鉄道で運びやすい。

?西のほうは田畑が多いので交通が少ない。